

真宗大谷派（東本願寺）天満別院

六字城

ROKUJIJO

2024/3/1

No.712

大阪市北区東天満 1-8-26
06-6351-3535
http://www.tenma-betsuin.jp

代表者 輪番・奥林 暁

Shinran 850th 800th



天満別院崇敬寺院巡り、泉勝寺

住職…小松 崇氏
住所…大阪府大東市赤井2丁目13番11号

泉勝寺の創建は、天文八年（一五三九）、本願寺十世証如上人より、御本尊の阿弥陀如来絵像が下付された時から始まります。この絵像の裏書には、願主道欽と記してあり、泉勝寺開基は道欽という人であったと考えられます。

村人たちによって創立された赤井村惣道場は、村落の信仰と共同体の中心であり、村人の協力のもとで維持されてきました。

天和三年（一六八三）、東本願寺十六世一如上人より泉勝寺の寺号が下付され、二年後の貞享二年（一六八五）、親鸞聖人絵像と蓮如上人絵像が下付され、次第に寺院としての体裁が整えられていきました。

泉勝寺は東本願寺末の本泉寺の末寺々院として推移してきました。宝暦八年（一七五八）頃に建立された本堂が、安政二年（一八五五）の大地震で倒壊し、安政五年に再建されました。明治九年（一八七六）には、本山本願寺・中本寺・末寺という本末関係が廃止され、本山直結の末寺、即ち本願寺・泉勝寺となりました。

安政の建立から百二十数年、本堂建立の話が持ち上がり、建設資金を捻出しようと、太子田淵（大東市太子田一丁目）の地権者十四名から泉勝寺に順次寄進されました。又、同年には境内地南側の隣接地五十坪余りが寄進され、寺域が拡張され、太子田淵の売却のための環境作りがなされていきました。それらの尽力の結果、昭和六三年、この淵が造成、売却されて建設資金の目処がたち、平成五年（一九九三）泉勝寺新築工事が完了しました。

御住職は、「御門徒の皆様の御尽力によって再建されたとの願いに立って、真宗の教えにふれていただきたい。とりわけ、正信偈は私たちにとって最も親しまれている大切なお聖教です。従来から各御家庭で勤めてこられたものが、日常の生活から遠いものになってきています。特に若い方々にも、この正信偈に親しみ興味をもっていただくことを願って、年忌法要には必ず本を配布して、共に勤めていただくよう努めています」と話されています。

法要・行事予定

3月		
11日	東日本大震災犠牲者追弔会	(8時)
12日	闍如上人御逮夜・常永代経	(14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中	(8時)
16日	天満別院合唱団「みのり」	(14時)
19日	春季彼岸会 並 総永代経法要 兼 墓地納骨（物故者）追弔法要 (13時30分) 澤田 見師 (第12組清澤寺) 「浄土の荘厳」	
25日	蓮如上人御祥月御命日	(8時)
27日	宗祖聖人御逮夜	(14時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 法話：輪番 奥林 暁	(8時)



4月		
6日	天満別院合唱団「みのり」	(14時)
12日	一如上人御祥月御命日 闍如上人御祥月御逮夜・常永代経	(8時) (14時)
13日	闍如上人御祥月御命日 兼日中 天満別院 花まつり	(8時) (13時)
14日	琢如上人御祥月御命日	(8時)
24日	緯如上人御祥月御命日	(8時)
27日	宗祖聖人御逮夜	(14時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 法話：輪番 奥林 暁	(8時)

おあさじにお参りしましょう!!
毎朝7:45分～8:30頃まで
※土、日は職員による感話があります。一人でも多くのご参詣をと、願ひ続けています。

今月の伝道掲示板



天満別院花まつり開催
来る4月13日（土）天満別院花まつりが開催されます。詳細は4月の六字城をご覧ください。たくさんのご参拝をお待ちしております。

地獄は人が
つくり出す
浄土は仏が
あらわされる
— 正親含英 —

『仏説無量寿経』にお浄土に響く音楽の様子が説かれています。様々な宝石で飾られた樹々から微妙なる音が調和し響き合っています。

しかし人間の世界ではこれらの音は不協和音となり調和されません。お浄土では調和され、聞くものはみなお浄土に導かれていきます。

真宗のお勤めは「声明」と言われお浄土の音楽を表しています。日頃の研鑽を怠ることないように改めて考えさせられました。

(I)

編集後記

寺町という歴史ある地域に
根ざした老舗葬儀社

(株) 天満花重

〒530-0041
大阪市北区天神橋 3-4-6
電話 (06)-6351-3875
FAX (06)-6351-6260

～ご縁を大切に～

◎ 日下念珠店

〒600-8174
京都市下京区烏丸通花屋町下る
TEL075-351-6325 FAX075-341-5255
https://www.kyo-kusaka.jp

避難指示が出た時 お内仏の何を持っていけばいい



答え

お仏壇（お内仏）の中で最も大事なものは、ご本尊・阿弥陀如来であります。ですが恐るべき土砂災害や河川洪水は待ったなしに起こります。前もって避難所へ行く荷物の中に入れることは難しいですし、余裕も時間もなく、たとえ持ち出せたとしても狭く限られた共同スペースで開くには無理があります。

本来、阿弥陀如来は私を救おうとする色も形もない、一人ひとり

の拠りどころなる真実（まこと）の「はたらき」であり、それが形となって木像や絵像として表現されたもののなのです。私たちのご先祖様はこの阿弥陀如来にご縁を頂かれました。そして今を生きる私たちにバトンを繋いで下さったのです。掌を合わす向こう側には祖先から阿弥陀如来へと続いていきますので、過去帳もしくは過去帳の写しを避難カバンの中に入れてもええたら良いかと思えます。可能ならば携帯電話で写真を撮っておくのも一つの方法でしょう。しかしながら、もし用意できなくとも、落ち着いた時に心静かに掌を合わせていただければ、心配なさることはないかと思えます。

どうぞお身体最優先で行動してくださいませ。

（第15組 本教寺 善澤 信成）

報告

青年部会主催 公開講習会開催

去る2月2日（金）に天満別院教化委員会青年部会主催による公開講習会が行われました。御講師には教学研究所研究員の松金直美さんにお越しいただき「真宗寺院の成り立ちについて」というテーマで行いました。

松金さんが持参された資料を元に講義が進められ、参加された方々は熱心に聴講されていました。

来年度も青年部会で公開講習会を開催予定なので奮ってご参加ください。



講義をされる松金 直美師



講義を聞かれる様子

2月 定例法話

2月24日（土）、御講師に13組即念寺洲崎 善範師と角谷 早音美さんをお迎えし、講題「シネマ法話（映画音楽×法話）」についてお話いただきました。

師は、紹介された映画の内容を説明しながら差別や偏見に対して差別をしていないと言い切ることは知らずに差別をしている人達に対する傲慢な気持ちであることに気付くと話されていました。

最後に聴聞に来られた方々と一緒に歌われて和やかな雰囲気皆さん楽しまれました。



13組即念寺洲崎 善範 師と角谷 早音美さん

退任のご挨拶

〈更なる地域社会における
中心的念仏道場を願って〉

武宮 信勝

この度、2月29日をもって任期満了を迎え、天満別院輪番の職を退任いたします。2018年3月1日付で拝命をいただき、以来、御門徒を始め、責任役員、院議会議員並びに崇敬寺院の皆さま方のご指導、ご厚情に導かれつつ丸6年間の職責を勤めてさせていただきました。紙面をお借りし厚く御礼申し上げます。

この正月、自坊に帰省した折、寺総代のある方から「御院家は大都会大阪天満別院に行つて何を大事にされたのか」と問われ、「私が大事にした事は、おあさじ（晨朝）の座に身を置くことかなあ」と答えさせていただきました。真宗門徒は、先ず御本尊の前に手が合はされ、頭がさがる礼拝から一日の生活が始まる。

ごく当たり前の事が日本全国津々浦々消えかかっている気がするのは私だけでしょうか。「同朋会運動」の原点であるこの大事なことを回復

していくことが「一人の念仏者の誕生」に繋がっていくことと自負しています。

天満別院には立派な御堂があります。250有戸の御門徒、120有寺の崇敬寺院がおられます。又550有墓の墓主さんもおられます。一層一丸となって本来の別院共同教化事業の繁栄を期待します。更には向後30年先を見据えて、約400年以上も大事にされてきた隣接の境内地が旧駐車場から新たな賃貸事業へと展開が始まりました。これ偏に高層ビルが立ち並ぶ大都会に位置する天満別院が、地域社会の老若男女問わず親しまれ、愛され、この中心的念仏道場が文字通りの教化センターとしての役割を果たし続けて欲しいという願いが込められています。その中であつて約20年ぶりに「花まつり」が復活したこと、報恩講中に音楽法要が始まったことは極みなき慶びであります。

今後、自坊長崎の松島に戻り、そう遠くないうちに住職の座を息子に継承し、島民の方々と一緒に聞法し、野菜作りに精を出しつつ、野菜に教えを蒙りながら、余生を

空過することなく生きていきたいと思つてます。

たかが6年、されど重くて深い6年。貴重な出遇をいただきましたこと、誠にありがとうございました。

能登半島地震募金報告

令和6年能登半島地震による甚大な被害が発生している状況を受け、被災地の支援の一助となるよう、被災地救援募金箱の設置を本堂と墓地事務所で行いました。また1月27日には、青年部会と教区内有志の方々による募金活動も行いました。

皆さまから、総額63,519円（2月29日現在）の心温かい救援金が集まりましたことをご報告させていただきます。



募金活動をする様子

寺務所職員の紹介

この度、別院では寺務所職員を左記の通り、採用致しましたので、お知らせ致します。

記

新任
寺務所職員 江頭 彩音

この度、叔父の紹介をきっかけに働かせていただくことになりました。滋賀県長浜市の小さな寺で生まれ育ちましたが、寺の行事は耳にする程度でした。わからないことだらけですが、少しでも天満別院のお役に立てればと思っております。

これからよろしく願ひいたします。

